

# ひゅーまん ねつとわーく

# 地域に生きる

2007年10月発行 / 第31号

社会福祉法人北摂杉の子会 社会福祉法人北摂杉の子会後援会 萩の杜家族会 ジョブサイトひむろ家族会  
ジョブサイトよど家族会

〒569-0071 大阪府高槻市城北町1丁目6-6 奥野ビル402 TEL 072-662-8133 FAX 072-662-8155 info@suginokokai.com



スティーブ・クルーパー博士と、児童デイサービスセンター a nにて



## ケアホームみやたのダウン症の 入居者支援の現状と課題

地域支援課 課長（萩の杜施設長兼務）

こう さか まさ とし  
河 坂 昌 利

私ども法人におきましては、開設時より掲げる法人理念“地域に生きる”を具現化するために、2002年4月にケアホームとんだ（男性：定員4名）、2005年4月にケアホームみやた（男性：定員4名で開始）を開設してきました。また、ケアホームみやた開設と同時に入所施設である萩の杜からのケアホームを利用しての地域生活への移行を目的に、自活訓練事業にも取り組んできました。そして、2006年5月には高槻市障害者地域移行支援センター事業を受託し、法人内外にとらわれずにケアホームを利用しての地域生活への移行を希望される方の地域移行を推進しています。高槻市障害者地域移行支援センター事業につきましては、今年度に入り、8月のケアホームみやたⅡ（女性：定員6名）の開設等も含めて、6名の方（内ダウン症の方は2名）をケアホームに新たに迎え、それぞれの方が地域での生活を始めておられます。最初は、1つのケアホームの男性入居者4名でスタートしたケアホーム事業ですが、現在ではその数も3つに増え、男女合わせて15名の方が地域の中で様々な経験をしながら生きいきとした生活を送っておられます。

今回は、ケアホームみやたの10名の入居者のなかで3名のダウン症の方（1名は20歳代、2名は50歳代）と、ケアホームみやたと同じ敷地内で支援を行っている自活訓練中の1名のダウン症の方（30歳代）の、ケアホームにおける支援をめぐる話題に焦点を絞り、日ごろ支援に当たっているケアホームみやたのサービス管理責任者・生活支援員の二名の担当者に、河坂がインタビュー形式で聞き取りを行いました。話はどンドン弾んで地域での生活支援のあり様についてまで広がってしまいましたが、その内容をまとめる形でみなさまに標記のテーマについてご報告いたします。

### まず、ダウン症入居者の1日の流れを教えてください。

【勝部／サービス管理責任者】まずは、ケアホームの住環境について少しご説明させていただきたいと思います。現在、ケアホームとして使用している物件は一般の賃貸マンションです。それぞれ、3LDK程度の住居を同じマンション内に複数お借りして、その中でみなさん生活されています。もちろん、各住居においてのみなさんの居室は個室です。リビング等は、食事場所や他入居者さんとの交流の場として、各住居の共用スペースとして使用しています。だいたい2～3住居を一つのケアホームとして、入居者の障害程度区分に基づいて、世話人・生活支援員等のスタッフを配置した支援体制を組んでいます。

【中田／生活支援員】朝の起床の声かけは、7：00前後から7：40分頃の間です。朝食時間から逆算して、1人ひとりの身辺面の自立度の違いや生活のペースに合わせて対応しています。食事は、世話人が調理を行い、生活支援員が各住居に配膳して、

それぞれの住居で同居している方と一緒に食事をしています。

9：15分位に、生活支援員が付き添って4名とも日中活動先であるジョブサイトひむろへ徒歩で出勤しています。急な体調不良や定期通院が必要な場合は、サービス管理責任者と生活支援員が協力して



ケアホームみやた・みやたⅡ  
一般のマンションの中の5戸を借りて2つのホームを運営しています。



おはようございます。職場に向かっていきます。

通院を行なっています。

ジョブサイトひむろが終わる 15:45 分に、生活支援員がお迎えに行き一緒にケアホームまで帰ります。ケアホームに帰ってから、入浴の好きな年長のお2人はすぐ入浴をされます。Aさんは、観たいテレビがあるので 19:30 分頃、Bさんは、20:30 分頃に入浴をされます。入浴については、基本的には、本人が入りたい時間に入らせていただいています。もちろんお風呂は、1人ひとりの利用ごとに掃除とお湯の張替えを行なっています。ジョブサイトひむろから帰ってからの夕食や入浴の時間以外は、テレビを観る、音楽を聴く、雑誌や広告を見る、近くのコンビニ等へ買物に行く、生活支援員と一緒にレンタルビデオを借りに行く、世話人や生活支援員、他入居者との団欒を楽しむ等、それぞれ思い思いに過ごしておられます。



かつべしんいちろう  
勝部真一郎

ケアホームみやたサービス管理責任者  
高槻市障害者地域移行支援センター事業(だ・カーぼ)担当

就寝時間は、早くから布団に入っている方から、午前0時を回っても起きている方までまちまちです。「地域の方や同居している方の迷惑にならない」、あるいは、「寝不足で日中活動先で居眠りをして仕事に取り組むことが出来ないということがないように」等、時には入居者一人ひとりが考えて自分自身と向きあっていただく必要がある場合を除いては、個人の自由にしていきます。

支援する上で大切にしていることは何ですか？

【中田】 ケアホームは、家(住居)であるが、入居者同士は家族ではないということ。ケアホームを利用して地域で生活したいと考えた、様々な障がい

のある方同士がたまたま共同で生活しているにすぎないということが大前提だと思います(もちろん場面によっては家庭的な雰囲気を大切にしている部分もあります)。従って、トイレやお風呂等の共用の部分については、入居者1人ひとりになれば、1回1回が自分のものとして使用することになるので、衛生面や清潔感といった個々人の当たり前の感情や感覚を大事にしていくように常に心がけています。また、現在11名の入居者が生活していますが、全体を一塊にして単に流していくような支援ではなく、1人ひとりの生活を大切にしたい支援を心がけています。そのため、世話人や生活支援員の動き方は、入居者1人ひとりの生活パターンやリズムを尊重した支援が可能になるように、常に工夫や整理を行っていません。世話人や生活支援員から見れば、入居者11名に対してスタッフ1名ですが、入居者から見れば1対1だということを忘れては



なかた しげまる  
中田 茂晴

ケアホームみやた生活支援員

けないと思います。また、それぞれの入居者の自己実現の為、ケアホームでの生活を通して、1人ひとりの要求を引き出していくことにも重点を置いています。季節を感じる事ができる取り組み、日中活動で得た給料を意識した取り組みを行うことで、入居者1人ひとりの生活がより豊かなものになればと考えています。1人ひとりの入居者の生活をトータルの視点で支援するには、ケアホームだけの生活を切り取った支援だけでは成り立ちません。日中活動先で頑張って働いて得た給料を持って、自分の欲しいものを買う、外食に出掛けて好きなものを食べる、行きたいところに出掛ける...といった取り組みをあらためて始めた

一人ひとりの生活を尊重した  
ケアホーム(家)づくり

また、それぞれの入居者の自己実現の為、ケアホームでの生活を通して、1人ひとりの要求を引き出していくことにも重点を置いています。季節を感じる事ができる取り組み、日中活動で得た給料を意識した取り組みを行うことで、入居者1人ひとりの生活がより豊かなものになればと考えています。1人ひとりの入居者の生活をトータルの視点で支援するには、ケアホームだけの生活を切り取った支援だけでは成り立ちません。日中活動先で頑張って働いて得た給料を持って、自分の欲しいものを買う、外食に出掛けて好きなものを食べる、行きたいところに出掛ける...といった取り組みをあらためて始めた



ホームで芋ほりに行きました。焼き芋はあつあつです。





お給料日に外食。ステーキを食べに行きました。

ところで、今後は、例えばクリスマスプレゼントを買いに出掛けるという取り組みも計画しています。こうした取り組みを通して、入居者に季節を感じていただければいいと考えているのと同時に、入居者によっては少し難しい場合もありますが、自分で働いた給料で他入居者のプレゼントを買いに行きたいとも考えています。他入居者へのプレゼントを買いに行くことの狙いとしては、「自分のお金で買ったのに、自分のものにならない」という気持ち、心の揺れ、あわせて一緒に生活している他入居者を意識する等、様々な経験を通して『このホームでずっと暮らしたい！』『朝起きて、みんなに会うのが楽しい！』『明日も仕事に行きたい！』という気持ちが芽生え、そのことが地域で生活していく“力”として育まれていくと思います。

#### 今後の課題はどういったものでしょうか？

【勝部】1つ目は、ダウン症の方の医療的ケアを保障する体制を地域の中で作ることです。ダウン症の方は、皮膚や粘膜が弱く、耳穴が小さい等により、内科や耳鼻科等への日常的な通院によるケアが必要です。そのため、1人ひとりの症状に合わせて、必要な診療科を持ち、地域の診療所への通院を行っています。あわせて、診療所や調剤薬局等との関係づくりに取り組んでいるところです。例えば、行きつけの調剤薬局では、服薬している入居者が多く、薬の管理がとても大変だというこちらの事情等、何度も通ってお話する中でご理解をいただき、薬袋ひとつひとつに入居者の名前を印字する機械をわざわざ導入してくれたということもありました。歯科治療に関しては、地域の中で障がいのある方の治療に理解のある歯科医の開拓に向けて、現在スタッ

フでリサーチを行っているところです。また、ダウン症の方で50歳代は、一般的にダウン症特有の早期老化が顕著に現れる年齢でもあります。ケアホームでの支援体制においては、専従の看護師が配置されていないので、普段から健康管理について、より専門的な細やかな配慮が行えるように整理していくことが大きな課題だと考えています。

2つ目は、住環境のバリアフリー化や構造の問題です。高齢の2人のダウン症の方は、2階に住んでおられますが、階段の昇り降りが少し辛そうです。ケアホームみやたは一般の賃貸マンションを使用していますので、介助スペース等考慮された設計ではありません。そのため、トイレや入浴介助を行う際には扉を開けていないと介助しにくい現状もあります。今後、重度の方の地域での生活支援や高齢になっても地域で生活し続けることを考えるなら、住環境の問題は避けて通ることは出来ないと考えています。従って、特に高齢の方への日々の個別支援では、その方の持っている力の維持ということも念頭において、生活の中でのちょっとした移動の際の配慮等、細かな支援を行っています。

「このホームでずっと暮らしたい」という気持ち

3つ目は、入居者1人ひとりの地域での生活を大切にする支援をより一層確実にするためには、実状に即したスタッフの適正な人員配置が必要だということです。昨年度より施行された障害者自立支援法には、ケアホームの人員配置基準が定められていますが、現在の入居者の障がいの状態や今後のより重度の方の入居を考えた場合、法の定める配置基準のみで日常的に切れ目のないケアホームでの生活支援や個別支援を行うには不安を感じる部分もあります。現在のケアホームみやたでの入居者の障がいの状態を基本にした場合、食事の調理業務は別として、スタッフ1名に対して入居者6名が限度かと考えています。また、調理についても、一般家庭と同じ調理環境で行っているため、一度に調理できる食数の限度があると考えています。

4つ目は、土・日曜日の余暇活動です。1人で外出することが困難な入居者については、現在ガイドヘルプの利用に向けて調整を行っています。しかし、余暇活動はガイドヘルパーと外に遊びに出掛けることだけではありません。スタッフと一緒に部屋の掃除をしたり、自分の部屋でゆったりと過ごしたり、スタッフと一緒に近所に出掛けたり…という



近くのお医者さんへ。

こともあっていいのではないのでしょうか。入居者にもよりますが、毎週末に外出するのは、かえってしんどいという入居者もいらっしゃるのではないかと思います（もちろん逆もあります）。余暇活動のあり方は、支援する側の一方的な価値観で判断するのではなく、1人ひとりにあった余暇の過ごし方を提案できるように一層工夫していきたいと考えています。それぞれにあった余暇活動の充実が、入居者の生活において大きな活力になると思います。

5つ目は、食事の栄養管理や衛生管理です。ケアホームみやたでは、世話人が調理業務をおもに担当しています。栄養バランスに配慮した毎日の献立やそれぞれの健康状態、嗜好に合わせ、単に栄養管理をするだけでなく入居者が美味しく食べていただける食事作りを行っています。例えば、野菜嫌いの入居者が野菜を摂っていただけるように、すり潰した野菜をカレーに入れて調理する、料理の彩りに気を配るなど、それぞれの世話人が日誌の紙面には書ききれないほどの細やかな工夫や配慮を日々行っています。今後、栄養や衛生の管理について、生活施設「萩の杜」の栄養士や看護師などの、より専門的な意見を取り入れながら、より確実なものにしていくことができるように整理していくことが課題であると考えています。

最後にそれぞれの抱負をお願いします。

最後にそれぞれの抱負をお願いします。

【中田】現在のケアホームみやたは、入居者1人ひとりが生活しやすい良い方向に向かっていると実感しています。入居者の生活を支える支援者が共通理解を持ち、入居者がより豊かな地域での生活を送ることができる支援を行っていくことが出来るように頑張りたいです。

【勝部】法人の理念である『地域に生きる』を具現化することを、ケアホーム事業・地域移行支援センター事業を通して、とことんこだわっていきたくと考えています。

“誰もが当たり前で地域の中で生活を送ること…”その実現の為に、スタッフと一緒に考えながら、地域の様々な方たちの力をお借りしながら、少しずつでも確実に進んでいきたいと思っています。



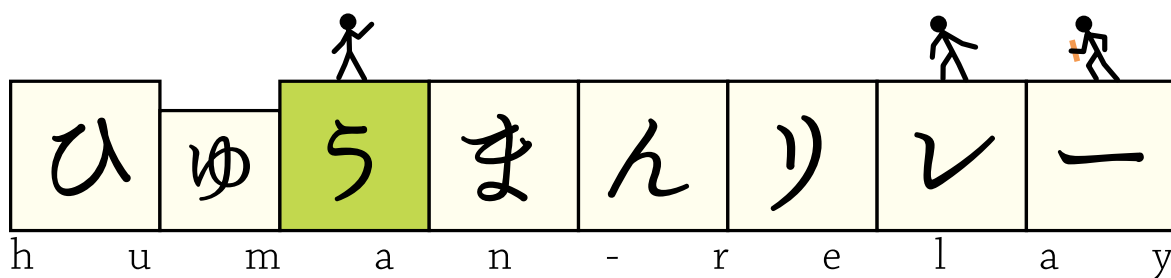
ホームでの自由時間。今日は入室でのんびり過ごしています。



近所のスーパーに来ています。ジュースを買いました。

今回、現場スタッフにこれまでの取り組みについて、あらためて詳しく話を聴く機会を得て、現場スタッフの支援における常日頃の創意工夫や思いが再確認でき、私自身非常に良かったと思いました。そして、今後の法人のケアホームの事業展開を考えたときに、重要なキーになることが多く含まれていると感じました。これらの成果は、ケアホーム事業に関わる全スタッフの努力の賜物だと感じています。また、今回報告させていただいたケアホームみやたは、地域社会の真ただ中にあります。当たり前のことですが、障がいのある方たちの地域での生活は、家主さんをはじめとして、ご近所のみならず、その他普段からお世話になっている地域の方たちや法人外の事業所のみならず、ご理解とご協力があってこそ初めて可能になることだと思っています。最後になりましたが、この紙面をお借りして厚く御礼を申し上げます。

これからもスタッフ一同力を合わせて努力してまいりますので、ご指導、ご鞭撻のほど、重ねてよろしくお願い申し上げます。



しが夢翔会・ステップ広場ガル <sup>ふじき</sup>藤木 <sup>みつる</sup>充さんより

## 地域と施設 行動障碍の方達の今日に寄りそう

4年前、強度行動障碍処遇事業を始めるとき、障害者更生相談所との協議の中で示されたのは、施設内の処遇だけでなく、圏域全体の困難ケースについて、それぞれの現場での対応に役に立つ積み上げのできるネットワークが構築できないのかということでした。

準備期間を経て2005年4月に〔障更相〕〔草津市・大津市〕〔大津・湖南障害者支援センター〕〔滋賀大〕〔重心施設・2〕〔作業所・3〕〔通所更生・2〕〔入所更生・2〕〔県精神保健センター〕〔養護学校・2〕〔自閉症・発達支援センター〕の参加を得て大津・湖南行動障害支援ネットを立ち上げました。実際にネットワークの協議の中に、様々なケースの報告があります。その中でも特に目立つのは、知的障碍を伴う自閉症の方で、特に成人期の不適応—行動障碍—他害や自傷、行動停止が強く出現するケースです。個別には少しずつ差異が有るのですが、誤解を恐れずに概括すると「養護学校卒業後、自宅から作業所に行き始めて、作業所での行動に一定見通しがつき始める頃、家庭での不適応—特に母親への他害（暴力行為）が起こりはじめ、家族の中では押さえきれず徐々に作業所でも不適応が起こる（作業所では比較的安定しているケースもある）」というもの。実際の日中活動を支えている作業所・通所の現場で、こんなに困難なケースがあるのかと驚くほどの頻度で報告があります。

私などはいつも困ってばかりいるのですが、発達支援センターの先生を中心に「構造化されたプログラム・集団の小規模化・本人の許容を越えない刺激の調整・許容的対応・出てくる言語と理解の乖離に対する支援者側の理解」等々、あせらず取り組むことの大切さが毎回のよう確認されています。それでも、難治性といわれるツウレット症候群の合併などを除いても、援助・療育の困難な場合に行き当たる事があります。ひとつは、共感関係の成立が難しい家族、特に母親との共依存の関係が強い場合や家族内に複数の障害者が存在する場合など。特に前者の場合、家族関係自体がストレスと考えられ、家族と距離を置くこと、具体的には、家族外の生活基盤を用意することが必要となってきます。



家族間の問題がストレスとしてパニックに至る場合、家族介護の関係を清算し、家庭外の生活拠点を準備することで、固着した、巻き込み型の緊張関係に依存しない生活パターンを作る必要があるのですが、これまで、一部その機能を果たしてきた寄宿舍が縮小されてきていて、ますます困難な状況に拍車がかかっています。

今私たちは、次の行動計画として、自閉・行動障碍地域支援としてのケアホームの検討を始めています。他の既に実施をされている所に学びながら、平成21年にはケアホーム10人定員程度で自閉・行動障碍の人たちのための環境設定——発声や粗大行動に耐えうる環境・職員体制と日中活動の場の隣接の準備を始めました。

障碍を持つ人たちが、その障碍像にあわせて、様々に内容を変えながら、当たり前「暮らして」いけること。入所施設の仕事が「日中活動」と「住まい」を一体的に実施し、強度行動障碍を持つ人や重介護・要医療障碍者の長期処遇や自立訓練を行うことを目標とすることに変わりはありません。そしてその中心的課題が、豊かな「暮らし」をはぐくむことである事にも。

私たちがしなければならないこと、したいことが、何より、私たちの行動の前提です。自立支援法でどうなのかを問うと同時に、利用者にとって必要なことを実施できているのかを問いたいと思います。福祉は、現場が光らなければなりません。現場第一主義は、私たちの誇りです。法律改正により引き回されるものに本物はありません。責任と何より覚悟を持って、これからも進んでいこうと思います。

滋賀県は、県土の中心で全体の1/6をしめる「母なる湖 琵琶湖」を取り囲むように存在している。私たちの施設のある大津は古都京都の「雅」の文化圏にあり、長浜や彦根は戦国の群雄割拠の地であり「勇」の文化の地である（と、私が勝手に思っている）。

そんな自由で闊達な町・長浜で入所をベースに「自閉症発達支援センター」や「生活支援センター」などを先駆けて取りくんでおられる「第二湖北寮」の北野施設長に、自由で闊達な話を聞かせてもらえるのでは、とバトンを引き継ぎます。



# 構造化のアイデア

## パート3 ～場所の構造化～

自閉症支援部 療育支援課

まつおか まきこ  
松岡 真紀子

「今から〇〇しよう!」「どこで〇〇する?」「ここで〇〇しようよ♪」「じゃあ、△△を使おう!」  
…わたしたちは、日頃から、常に情報を取捨選択、交換しながら生活をしています。

“構造化のアイデア シリーズ”では、自閉症の人たちとの情報の共有、交換などについて考えていきます。パート1では「自閉症の人とのバリアフリー」について、パート2では「時間の情報の伝え方(時間の構造化)」についてお伝えしてまいりました。

さて、パート3は…「場所の構造化」。場所の構造化とは一体何でしょうか??  
“構造化”とは「自閉症の人たちとのバリアフリー」の考え方やその手立てについてのアイデアであるというお話がパート1でありましたね。今回は「場所のバリアフリー」について考えてみたいと思います。

### ◎場所の構造化(場所のバリアフリー) = どこで、なにをやるのかを明確にすることを意味します

(例えば、食卓=食事、トイレ=排泄、風呂=入浴、脱衣所=着替え、学習や作業=机、休憩=休憩所など)

その工夫をいくつか紹介します…

- ・活動と場所の1対1対応…その場所にいくと、何の活動に取り組みばよいのかを見て判断できる。
- ・活動の境界線…カーペットやタイル、壁紙など、色や素材の違いによって場所の違いを見て判断できる。棚、カーテン、パーティション、個室などによる空間分けで場所の違いを見て判断できる。
- ・刺激のコントロール…人や物の動き・配置、物音、気温、湿度、使用する物の素材などが配慮されると、必要な情報に焦点が定まり、場面での状況判断が円滑にすすむ。

(※注意:どのような手立てを用いて、場所の違いを判断できるのかは、個人によって異なります)

### 食事場面の構造化



写真を用いたメニュー表  
好きなものを選びます



食器を片付ける  
トレー。  
実物大の写真  
シートに一致  
させれば下膳  
完了!



隣との境界線を明確にするための  
ライン



活動の段取り表。するべきことが文字とイラストで一覧になっています。



座る場所に名札を貼って指定します

何気なく過ごしている食事場面…  
“食べる”という行為の他にも、実はたくさんの情報を同時に処理する必要がありますね。



## はみがきコーナーの構造化

左：歯ブラシと手順書のセット



右：使用後の歯ブラシを片付ける缶とがいに必要な適量の水が入ったコップのセット

パーティション（移動式カーテン）を用いて、通路や食卓からの視覚情報をカットしています。注目すべきアイテムに焦点が定まりやすくなります。



- ・水を吐き出す場所。
- ・座った際、蛇口が斜め後方に位置し、水道の存在に気を取られぬよう配慮しています。
- ・水遊びが始まってしまう可能性があるため…水道の元栓を締め、蛇口から水が出る量を調整しています。

フロアの角にコーナーを配置すると、左右・前後方に“行き止まり”が発生し、移動の際に動線が整理されます。活動場所を発見しやすくなります！

イス・机を配置することで活動場所明らかします。さらに姿勢の保持を助けます。

目に見える形で、その活動と場所に必要な情報を手にすることができると、自分自身で手がかりを見つけて使うことができます。誰かに依存するのではなく、自分で、主体的に自信をもって活動に取り組む経験を積み重ねると「誰かに依存しながら生活を送ること」or「自立して生活を送ること」を自身で選択するという、選択肢が広がるのではないかと思います。

構造化というアイデアは、私たちが「(自閉症の文化を尊重し)あなたを大切に思っています」というメッセージを、目に見える形で証明できる素敵なアイデアではないでしょうか。自閉症の人と生活をともにする際のエチケットとしてぜひ身につけておきたいですね。

## スティーブ・クルーパー博士が法人施設を見学されました

自閉症者への支援で世界的に評価されている米国ノースカロライナ大学 TEACCH 部のフェイアットビル TEACCH センター 所長、スティーブ・クルーパー博士が9月に来日されたおり、法人事業所「ジョブサイトよど」「a n」「アクトおおさか」にもお越しいただきました。施設内のあちこちに視覚的な表示や指示書があるので、クルーパー博士にも取り組みについて十分理解していただけたのではと思います。クルーパー博士に法人での実践を見ていただくことができ、法人のこれからのむけて意義深い機会となりました。



### ■本部事務所開設のお知らせ

これまで萩の杜内で行っておりました本部業務について、下記住所に新しく事務所を開設し、法人本部としてのほとんどの業務を新しい事務所にて行うことにいたしました。登記上の所在地は萩の杜内に残ることから、いくつかの業務はまだ萩の杜事務所に残しますが、今後、法人本部に御用のある際には、まずは新しい本部事務所へご連絡いただくことをお願い申し上げます。

新事務所：〒569-0071 高槻市城北町1丁目6-6 奥野ビル402  
TEL：072-662-8133 FAX：072-662-8155  
E-mail：info@suginokokai.com（法人代表アドレス/変更なし）



# 掲 示 板 コ ー ナ ー

(平成 19 年 6 月から平成 19 年 8 月まで)

## 法人本部 総務部 掲示板

- |           |                                      |           |   |
|-----------|--------------------------------------|-----------|---|
| 6 月 4 日   | 経営会議                                 | 8 月 10 日  | 平成 20 年 4 月採用 作業療法士 面接                                    |
| 19 日      | 運営会議                                 | 13 日      | 高槻市立つきのき、かしのき学園<br>統合施設設置運営業者選定参加プロジェクト<br>(TK プロジェクト) 開始 |
| 20 日      | 将来構想検討委員会                            | 23 日、27 日 | プロジェクト会議実施  |
| 17 日      | 平成 20 年 4 月新卒採用 会社説明会<br>会場 ジョブサイトよど | 30 日      | 応募書類を高槻市へ提出   |
| 21 日      | 平成 20 年 4 月新卒採用 会社説明会<br>会場 ジョブサイトよど | 22 日      | 将来構想検討委員会   |
| 27 日、30 日 | 新卒採用試験                               | 28 日      | 運営会議  |
| 7 月 9 日   | 経営会議                                 | 31 日      | 平成 20 年度 新卒内定者<br>研修 施設案内 (萩の杜、ケアホーム、<br>ジョブサイトひむろ、WILL)  |
| 19 日      | 将来構想検討委員会                            |           | 懇親会   |
| 21 日      | 第 43 回理事会第 24 回評議員会 開催               |           |   |

(安原 記)

## 萩の杜 掲示板

- |         |                    |         |                                   |
|---------|--------------------|---------|-----------------------------------|
| 6 月 5 日 | 勤務表作成ミーティング        | 17 日    | 歯科検診                              |
| 6 日     | 精神科相談              | 18 日    | 精神科相談                             |
| 7 日     | マニュアル検討委員会         | 19 日    | 課長主任会議/生活介護係り会議                   |
| 11 日    | 居宅支援事業所準備室会議       | 26 日    | 部課長・主任会議                          |
| 12 日    | 事例検討会              | 31 日    | 歯科検診                              |
| 13 日    | 課長主任会議             | 8 月 1 日 | 精神科相談                             |
| 14 日    | 旅行委員会              | 2 日     | マニュアル検討委員会                        |
| 19 日    | モデル施設サポート事業        | 3 日     | 旅行 (和歌山マリーナシティー)<br>/居宅支援事業所準備室会議 |
| 20 日    | 精神科相談              | 7 日     | 歯科検診                              |
| 21 日    | 生活介護係り会議           | 8 日     | 生活介護係り会議                          |
| 26 日    | 歯科検診               | 9 日     | 勤務表作成ミーティング                       |
| 27 日    | 余暇委員会              | 21 日    | 歯科検診                              |
| 7 月 3 日 | 歯科検診               | 22 日    | 精神科相談、居宅支援事業所準備室会議                |
| 4 日     | 精神科相談/居宅支援事業所準備室会議 | 23 日    | 旅行委員会                             |
| 5 日     | マニュアル検討委員会         | 24 日    | 余暇委員会                             |
| 10 日    | 歯科検診/勤務表作成ミーティング   | 28 日    | モデル施設サポート事業                       |
| 12 日    | 旅行委員会              |         |                                   |



## ジョブサイトひむろ掲示板

6月 1日 萩の杜作業場レクリエーション	労働支援課会議
4日 陶芸グループレクリエーション	16日 祝日開所日
5日 エアロビクス①	ジョブサイトひむろ利用者、萩の杜利用者が
7日 そうぞう2グループレクリエーション	出勤されました
9日 休日開所日	7月見学者（来所者）4組14名
ジョブサイトひむろ利用者が参加されました。	8月14日～19日
12日 エアロビクス②	夏期休暇
15日 折コングループレクリエーション	20日 生活介護事業所説明会
スタッフ会議	24日 スタッフ会議
21日 洗濯グループレクリエーション	30日 平成19年度第2回家族会定例会
22日 折コングループレクリエーション	利用者三科洋子さんが入所されました。
25日 家族会定例会	8月見学者（来所者）2組6名
6月見学者（来所者）1組3名	実習生利用者1名1日
7月 9日 メンテナンスグループレクリエーション	大学生2名延べ18日間
13日 そうぞう1・3グループレクリエーション	

(平野 記)

## 自閉症支援部掲示板

### ●大阪自閉症支援センター

連続講座（入門講座・実践講座）各月1回実施

サマースクール実施（8月6日～10日、20日～24日）

豊能町教育委員会巡回相談（小学校 計2回）

枚方市教育委員会巡回相談（幼稚園 計2回）

和泉市教育委員会巡回相談（幼稚園・中学校 計2回）

摂津市教育委員会巡回相談（小学校 計2回）

和泉市教育委員会テーマ別合同研修講師派遣

（7月24日～25日）

摂津市特別支援教育コーディネーター研修講師派遣

（7月26日～27日）

泉大津市教育委員会連続講座講師派遣

（7月31日、8月1日）

和泉市教育委員会自閉症療育者トレーニングセミナー

講師派遣（8月7日～8日）

高槻市教育委員会自閉症療育者トレーニングセミナー

講師派遣（8月23日～24日）

その他研修会・講演会への講師派遣

### ●アクトおおさか

枚方市・四条畷市小・中学校巡回相談（月1回実施）

河内長野市・東大阪市小・中学校巡回相談（隔月実施）

富田林養護学校巡回相談（隔月実施）

高槻養護学校巡回相談（月1回実施）

東大阪市教育委員会連続講座（7月27日、8月3日）

東大阪市教育委員会テーマ別合同研修（8月22日、29日）

河内長野市教育委員会テーマ別合同研修会（7月25日）

河内長野市教育委員会トレーニングセミナー

（7月30日～31日）

枚方市教育委員会連続講座（7月27日、8月2日）

四条畷市教育委員会連続講座（7月24日）

四条畷市教育委員会テーマ別合同研修会（8月23日）

富田林養護学校 AAPEP 実技セミナー（8月23日）

高槻養護学校連続講座（7月17日）

高槻養護学校トレーニングセミナー

（8月24日、27日～28日）

和泉の里コンサルテーション（月1回実施）

東大阪市療育センター第1はばたき園コンサルテ

ーション（6月、7月、9月実施）

発達障害者支援センター全国連絡協議会総会実務者研

修出席 於東京都（6月7日～9日）

大阪府発達障害団体ネットワーク運営委員会 於ジョ

ブサイトよど（6月11日）

大阪府特別支援教育連携協議会 出席（6月12日）

大阪府発達障害者職業訓練検討会 出席（6月22日、

9月4日）

大阪府発達障害者支援体制整備検討委員会 出席

(7月9日、9月12日)

大阪府発達障害のある生徒支援連絡会 出席

(7月18日)

大阪府発達障害者支援センター連絡協議会 出席

(8月29日)

(新澤 記)

●児童デイサービスセンター an

保護者研修 (入門・実践・応用講座) 月1回

8月 訪問相談 (希望者のみ)

単独療育及び個別支援計画面談 3件

●自閉症療育センター will

保護者研修 月1回

(入門講座 - 現療育児の保護者対象)

(実践講座 - H18年療育終了の保護者対象)

個別支援計画面談 7月3日～7月13日 全員対象

(谷岡 記)

## ジョブサイトよど掲示板

6月 4日 支援員会議

5日 レクリエーション (4階) UCC博物館

12日 レクリエーション (5階) 万博公園

14日 見学 育成会東淀川支部

18日 見学 福島第二育成園

19日 レクリエーション (3階) UCC博物館

職員勉強会 (ひまわり)

20日 支援員会議

22日 よどかわら版1号発行

給食会議

26日 レクリエーション (5階) 伊丹空港

29日 工賃支給日

7月 2日 支援員会議

3日 レクリエーション (J ブランチ)

宝塚ガーデンフィールズ

6日 見学 茨木養護学校、パート職員研修会

10日 レクリエーション (5階) 京都植物園

17日 職員勉強会 (ひまわり) 給食会議

23日 支援員会議

27日 工賃支給日

8月 1日 利用者健診

7日 支援員会議

9日 見学 富田林養護学校

13日～17日

夏季休暇

20日 支援員会議、給食会議

21日 職員勉強会 (ひまわり)

30日 見学 思斉養護学校

31日 工賃支給日

## 萩の杜家族会掲示板

6月 10日 草刈り (環境整備)

11日 サークル萩

イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン

(高槻・茨木)

15日 ホットトーク 河坂施設長、下課長と母親との懇談。

24日 定例会 21名出席。河坂施設長、

中村理事長出席。

・新会員紹介

・団体障害保険について

・事務局より報告、資金部より報告

高槻カトリック教会 花販売

28日 サークル萩

7月 9日 サークル萩

10日 茨木養護学校物品販売

11日 イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン

(高槻・茨木)

13日 ホットトーク 松本栄養士さんと母親との懇談。

22日 定例会 25名出席。松上統括施設長、

中村理事長、河坂施設長出席。

・資金部より報告、広報部より報告

・萩の杜作業場建設スケジュールについて

(松上統括施設長)

・その他

高槻カトリック教会 花販売

26日 サークル萩

8月 3日 イオン マイバッグ特別キャンペーン

11日 イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン  
13日 広報機関誌発行の手伝い

21日 ホットトーク 萩の杜職員態勢についての説明会。河坂施設長、中村理事長出席。

(深尾 記)

## ジョブサイトひむろ家族会掲示板

- |  |   |
|--|---|
| 6月25日 定例会<br>①H18年度事業及び決算関係の内容について（JSひむろ関係）<br>②居宅支援事業の制度説明<br>③新事業体系への移行と生活介護作業所の新設計画について<br>④その他職員の動き・採用など | ②役員体制について<br>8月20日 JSひむろ北保護者説明会<br>①新介護施設の概要と利用について<br>30日 定例会<br>①新介護施設に関するアンケートの集約結果と施設・体制などの説明<br>②新事業体系への移行について<br>③その他 利用者の日帰り旅行及び健診の実施、送迎バス費用負担の件など<br>法人理事会評議員会 7月21日<br>沖本会長・豊澤副会長が出席<br>将来構想検討委員会 6月20日・7月19日・<br>8月22日 沖本会長出席 |
| 7月10日 家族会会員にアンケート調査を実施<br>生活介護施設（萩の杜）の開設後の体制について   |   |
| 30日 役員会<br>①新介護施設の概要に伴う意見・要望などの集約と検討   |   |

## 北摂杉の子会後援会掲示板

### <近況報告>

萩の杜、ジョブサイトひむろ、ジョブサイトよどの家族会を含む多くの方々のご支援のおかげで、後援会の会員数は徐々に増えています。また、ご寄付も頂いています。

今後ともより一層のご協力をよろしくお願い申し上げます。

### (会員数)

・2007年6月末

個人会員：551名

団体会員：18団体 合計：569名/団体

寄付：6件

・2007年7月末

個人会員：560名

団体会員：18団体 合計：578名/団体

寄付：3件

・2007年8月末

個人会員：575名

団体会員：18団体 合計：593名/団体

寄付：7件

(今年度の新規会員：個人；67名、団体；1団体)

(棚山 記)

## ジョブサイトよど家族会掲示板

- |  |                                     |
|--|-------------------------------------|
| 6月4日 家族会役員会開催。100円喫茶実施。                            | 29日 臨時家族会役員会で、コロケ試食会実施。             |
| 7日 オアシス役員会で、100円喫茶実施。                              | 7月2日 家族会役員会開催。100円喫茶実施。             |
| 11日 大阪府発達障害団体ネットワーク運営委員会<br>会長、副会長参加。<br>100円喫茶実施。 | 5日 オアシス役員会で、100円喫茶実施。               |
| 13日 十三市参加。   | 9日 オアシスサロンで、100円喫茶実施。               |
| 21日 オアシス座談会で、100円喫茶実施。                             | 13日 給食試食会実施。会員12名参加。                |
| 25日 オアシスサロンで、100円喫茶実施。                             | 7月家族会定例会開催。会員25名参加。                 |
| 28日 オアシス勉強会で、100円喫茶実施。                             | 淀川警察署生活安全課係長をお招きして防犯<br>について勉強しました。 |



- 21日 北摂杉の子会臨時理事会・評議委員会  
福田参加。
- 8月 6日 家族会役員会開催。100円喫茶実施。
- 10日 淀川区社会福祉協議会へ地域啓発のため訪問。  
(佐々木施設長、会長、副会長)
- 20日 中村理事長と語ろう会をがんこ寿司十三本店  
で、実施。会員11名参加。
- 27日 オアシスサロンで、100円喫茶実施。  
(福田 記)

## 大阪自閉症支援センターを発展させる会 オアシス掲示板

- 6月 7日 役員会
- 11日 大阪府発達障害団体ネットワーク運営委  
(前会長・副会長)
- 14日 実践報告会(研修委員会)73名参加  
「あのね♪もPECSも俊輔流」  
報告者・オアシス会員松尾めぐみさん  
於：ドーンセンター  
実践報告会会場にて書籍販売と募金活動  
(収益委員会)
- 16日 おやじの会6月例会「おやじの療育」
- 21日 新澤伸子先生を囲んでの座談会(交流委員会)  
「学校の先生とうまく付き合うには」26名参加
- 25日 「オアシスサロン」13名参加
- 28日 勉強会「就労に向けて家庭の役割」  
(就労委員会)22名参加  
講師・大阪市リハビリテーションセンター  
堀内桂氏
- 7月 1日 就労体験(1)(学齢委員会)  
会員児がいるか通信発送作業を手伝う11名参加
- 2日 いるか通信19号発行(広報委員会)  
印刷はジョブサイトよどへ委託
- 3日 施設見学会大東園(就労委員会)24名参加
- 5日 役員会
- 6日 学習会(研修委員会)  
「困っちゃったPart3」11名参加  
於：大阪市長居障害者スポーツセンター
- 8日 就労体験(2)(学齢委員会)  
会員児がいるか通信発送作業を手伝う9名参加
- 9日 「オアシスサロン」13名参加  
〃 「ホットメールなにわ」出席(会長)  
於：浪速青少年会館  
〃 いるか通信19号と各種案内を発送
- 10日 大阪府教育センター訪問(会長)
- 11日 大阪市発達障害者支援センターエルムおおさか  
訪問(会長)
- 18日 いるか通信20号編集会議(広報委員会)
- 21日 北摂杉の子会理事・評議委員会(前会長)  
〃 おやじの会7月例会「ビアパーティー」  
10名参加  
於：岩崎塾本店(大阪市北区)
- 29日 交流委員会余暇支援  
「ボランティアさんと遊ぼう」4名参加  
於：池田市五月山体育館温水プール
- 8月 4日 大阪市西区「第1回そよかぜまつり」参加  
発達障害啓発の展示を行う
- 5日 役員会
- 18日 おやじの会8月例会「おやじ、学校を語る」
- 27日 「オアシスサロン」11名参加  
(南木 記)

□法人へのご寄付に感謝します(2007年7月11日～9月30日)

長尾 京子 医療法人健珠会田泌尿器科クリニック 山本 正一 棚山 薫晴

□後援会ご入会と会費納入に感謝します(2007年6月23日～9月26日)

塩田好子 塩田裕正 江藤啓子 西村伊一郎 笹井みき 鈴木周平 林 秀郎 山本壽一 瀬戸山美津子 瀬戸山達郎  
瀬戸山隆三 川合定雄 辻本秀子 勝部多鶴子 斎藤閔子 北村久美子 田中由紀子 植松信機 植松里枝  
植松小遙 大野忠春 岩 忠 岩 弘子 岩 愛子 岩 敬子 谷口千代子 富坂健治 富坂昭子 円藤優香  
円藤舞香 石田千恵 小林由美子 井原順子 田口勝重 岩成由佳子 戸田純子 富士谷恵子 福留泰俊 中田真紀  
蛭 豊 山本明彦 早原君子 木下豊仁 長岡なつこ 矢ヶ崎収一 西井正美 中本 昭 並河妙子 並河光子  
並河 博 照内チズ子 照内百子 長岡 巧 長岡 都 菅沼朋子 中島江美子 沼波喜代子 福田啓子 永井昌明  
篠田美紗 谷口智恵子 田村和子(南平台小学校) 有川洋太郎 有川由子 有川光洋 有川輝久 有川智美  
有川航平 水間弘和 水間茂子 水間直子 森田 弘 森田豊子 森田俊博 森田靖紀 森田和成 長尾杏奈  
長尾幸英 長尾智久 長尾あゆみ 長尾京子 四方あかね 井上陽子 富宅由美子 徳本晴美 倉本 周 小林夏子  
小林和美 大上直子 調 佳枝 山本公子 野口良三 野口里子 野口雅子 片岡厚子 佐藤宣三郎 竹村一郎  
湯川千恵 矢橋寿樹 矢橋ひとみ 坂本啓子 鈴木規子

□後援会へのご寄付に感謝します(2007年6月23日～9月26日)

鈴木孝雄 林 秀郎 伯野祥子 梶井英二 蛭 亨 田村和子(南平台小学校) 水間弘和 橋川靖子 田口敦夫  
戸田純子 矢橋 文

□家族会へのご寄付に感謝いたします(2007年7月23日～9月23日)

植松 サンクス富田 ほかほか弁当茨木園田店

□物品のご提供に感謝いたします(2007年7月23日～9月23日)

石田 小塚幸恵 鶴谷久子 山口多恵子 土屋 不二園芸 上里 甲斐

□ボランティアに感謝いたします(2007年7月23日～9月23日)

岡本敦子 松木咏子 ほかほか弁当茨木園田店 木野下智宏 朝日貴美子



(敬称略 順不同)

### 寄付と後援会入会のお願い

社会福祉法人「北摂杉の子会」後援会の趣旨に賛同され、ご支援して下さる方々の寄付及び後援会への入会をお願い申し上げます。寄付金と後援会費は法人を支援するための資金とさせていただきます。

お振込みは右記口座まで、もしくは、同封の振込用紙をご利用下さい。皆様のご支援とご協力をよろしくお願い致します。

記

- ◇ 1. 寄付金 円
- ◇ 2. 個人会員 年間一口 2,000円
- ◇ 3. 団体会員 年間一口 10,000円
- ◇  郵便振込口座 北摂杉の子会   
00920-8-90859

□ 社会福祉法人 北摂杉の子会 法人本部  
〒569-0071 高槻市城北町1丁目6-6 奥野ビル402  
TEL (072) 662-8133 FAX (072) 662-8155  
[E-Mail] info@suginokokai.com  
[URL] http://www.suginokokai.com

□ 知的障害者生活施設 萩の杜  
〒569-1054 高槻市大字萩谷14番地1  
TEL (072) 699-0099 FAX (072) 699-0130  
[E-Mail] haginomori@suginokokai.com

□ ショートステイセンター ぶれす  
〒569-1054 高槻市大字萩谷14番地1  
TEL (072) 699-0099 FAX (072) 699-0130  
[E-Mail] breath@suginokokai.com

□ グループホーム とんだ  
〒569-0814 高槻市富田町5-13-14 101号室

□ ケアホーム みやた  
〒569-1142 高槻市宮田町3-4-1 105号室

■ 高槻市障害者地域移行支援センター だ・かーぼ  
〒569-1141 高槻市氷室町3-20-10  
TEL (072) 690-5221 FAX (072) 690-5227  
[E-Mail] da-capo@suginokokai.com

□ ジョブサイトひむろ(就労移行支援・生活介護事業)  
〒569-1141 高槻市氷室町1丁目14-27  
TEL & FAX (072) 697-2234  
[E-Mail] himuro@suginokokai.com

■ 生活支援センター あんだんて  
〒569-1141 高槻市氷室町1丁目14-27  
TEL (072) 697-2233 FAX (072) 697-2234  
[E-Mail] andante@suginokokai.com

■ 大阪府発達障害者支援センター アクトおおさか  
〒532-0023 大阪市淀川区十三東3丁目18-12  
イトウビル1F  
TEL (06) 6100-3003 FAX (06) 6100-3004  
[E-Mail] act-osaka@suginokokai.com

□ 自閉症療育センター will  
〒569-0077 高槻市野見町3-14 第2高谷ビル2F  
TEL (072) 662-0100 FAX (072) 662-0056  
[E-Mail] will@suginokokai.com

□ ジョブサイトよど(就労移行支援・生活介護事業)  
〒532-0023 大阪市淀川区十三東2丁目4番2号  
TEL (06) 6838-7007 FAX (06) 6838-7015  
[E-Mail] yodo@suginokokai.com

□ 大阪自閉症支援センター  
〒532-0023 大阪市淀川区十三東2丁目4番2号  
TEL (06) 6838-8990 FAX (06) 6838-7015  
[E-Mail] o-center@suginokokai.com  
[URL] http://oasc.jp

□ 児童デイサービスセンター an  
〒532-0023 大阪市淀川区十三東2丁目4番2号  
TEL (06) 6838-8990 FAX (06) 6838-7015  
[E-Mail] an@suginokokai.com [URL] http://oasc.jp

※■は行政よりの委託事業

発行人 社会福祉法人北摂杉の子会 理事長 中村節史  
発行日 2007年10月10日

発行所 北摂杉の子会 住所 大阪府高槻市大字萩谷14番地1

定価 100円